

## 行政視察報告書

委員会名（会派名）	議会広報等特別委員会	報告者	中山、樋浦、岡山、タナカ、長井
視察日程	令和元年5月21日～23日		
調査事項 及び 視察地	①愛知県刈谷市	広報広聴に関する活動、取り組みについて	
	②三重県四日市市	広報広聴に関する活動、取り組みについて	
	③三重県松阪市	広報広聴に関する活動、取り組みについて	
参加議員（委員）	中山 眞二、樋浦 恵美、岡山 秀義、田澤 信行、タナカ・キン、長井 由喜雄、齋藤 信行、丸山 吉朗		
①	<p><b>【調査目的・内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かりやっこページ」を作成した経緯や目的について</li> <li>・「かりやっこページ」を作成して良かった点や悪かった点について。また利用者の感想等について</li> <li>・声の議会便りについて、現在の利用者数等の状況についてまた利用者の感想について</li> <li>・広報広聴に関し、現在力を入れている点について</li> </ul>		
	<p><b>【所感】</b></p> <p>燕市議会では、昨年秋の改選後、議会報等特別委員会を議会広報等特別委員会と改正し、これまで議会報の制作を主としていた委員会を、広報活動を加えた、より活動範囲を広げた委員会となった。今回はそれに伴い、インターネットなどの広報活動が盛んな愛知県三重県の地域の中から、より先進的な市を選ばせていただき今回の視察となった。</p> <p>多くの市議会にとって、何とか市民の皆様、議会活動を知っていただくよう努力しているのだが、なかなか伝わらないのが現実で、皆さん苦勞をしているのはいずこも同じなのだが、刈谷市さんでは選挙年齢が18歳に引き下げられたのを機に、次世代を担う子ども達に若いうちから政治に参加する意識を持ってもらうため、「かりやっこページ」として小中学校の勉強にも使えて、議会を楽しく学べるサイトの開設及び市議会紹介用DVDを作成された。</p> <p>内容は、「議会とは」から始まり、「議会クイズ」があったりして、まずはわかりやすく、十分大人でも楽しめる内容だったり、我々議員も今さら聞けない「議会と何か」であった。これを作ること自体が議員の勉強かとも思う。子どもたちの議会見学もしており、子どもたちを通して大人達へのアピールにもなっていると感じた。</p> <p>また、視覚障害者向けの「声の議会便り」は、ボランティア団体との関わりから始めねばならず、声の議会便りの作成の前に、視覚障害者のことや、ボランティア団体のことを学んでからのことと感じた。</p> <p>その他、議場を見学させてもらい、傍聴者に見やすくわかりやすくということで、大型モニター98型と65型の2台、更に傍聴席に49型2台を設置。また質問時に資料を映し出せるようにしており、議員だけでなく傍聴者にもインターネットで見ている市民にも、会議のやりとりがわかりやすくなっており燕市でもぜひ取り入れたいと感じた。</p>		

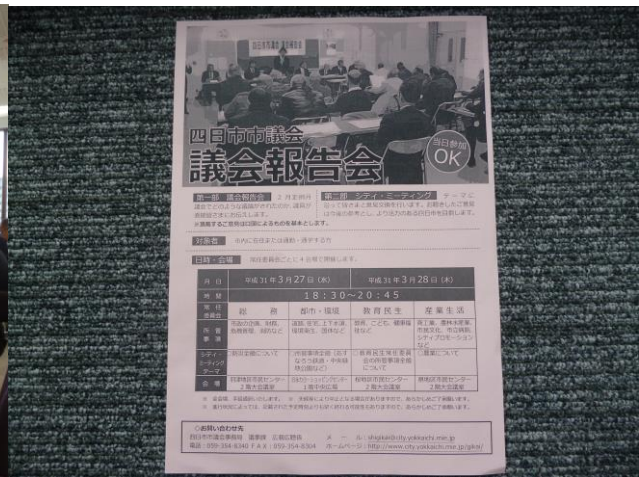
②	<p><b>【調査目的・内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Facebookの運用方法について</li> <li>・ Facebookの良い点、悪い点や市民等の反応について</li> <li>・ 議会報告会について</li> </ul>
	<p><b>【所感】</b></p> <p>議会情報の発信では、2016年4月から「議会情報を積極的に発信することで市議会についての理解を深めてもらい、より開かれた議会を推進」するとして、Facebookで市議会のページを開設している。議会の日常のほか、常任委員会での調査テーマを募集したり、提出された議案に対する市民の声も募るなど、市民の関心の目線で活用されている。</p> <p>また、2012年から「議会報告会」という形で議会が積極的に市民の声を聞くこともしている。</p> <p>四日市市議会のこれらの姿勢の根本には、議会の基本理念や方針を定めた「議会基本条例」を制定しているからである。これには「議会活動に関して市民等に対し情報を公開し、情報の共有に努めること」をうたっている。</p>
③	<p><b>【調査目的・内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代社会で主流となったソーシャルメディアを活用した広報活動について</li> <li>・ 子どもから大人まで読みやすく、わかりやすい絵本「トリセツ」について</li> </ul>
	<p><b>【所感】</b></p> <p>公式SNS Facebook「ぎゅうつと松坂」・Twitter「松坂市」などのソーシャルメディアを活用し、情報発信し、幅広い年齢層に広報活動している。さらに、行政活動においても、ソーシャルメディアを有効に活用することで、市民へ情報を提供することや市民からの意見を聞かせることができる。災害発生時やその災害に備えるための情報についても、いち早く多くの市民に伝えるためにソーシャルメディアを活用している。</p> <p>また、まつさか市議会の「トリセツ」は、子どもが手にとっても読みやすいようにマンガを中心に松坂市での行政・市議会活動を説明している内容となっている。</p>

【視察の様子】

① 愛知県刈谷市



② 三重県四日市市



③ 三重県松阪市

